

Ⅲ 中央アジア及びコーカサス地域

1. 中央アジア及びコーカサス地域に対する政府開発援助（ODA）の考え方

(1) 意義

我が国は、ソ連崩壊後の新たな国際情勢の下、中央アジア及びコーカサス地域の地政学的な重要性を考慮し、これら諸国の民主化及び市場経済導入の努力を積極的に支援していくことを目的として、人材育成のための技術協力やインフラ整備、経済改革に伴う困難を緩和するための資金協力を中心とした援助を行ってきた。同地域の各国とも独立後14年を経過した現在、政治・経済両面における多様化が進行しており、特に経済面ではエネルギー資源の有無により各国間の経済格差が増大する傾向にある。

特に、中央アジアは、ロシア、中国といった大国に囲まれ、中東、アフガニスタン、パキスタン等周辺の不安定な地域情勢の影響を受けやすい。特に、9.11事件以降、同地域を巡っては、米軍の駐留やロシア、中国の動きなど戦略環境に大きな変化がみられるが、中央アジア地域の平和と安定は、我が国をはじめユーラシア大陸全体、ひいては国際社会の安定と繁栄にとって引き続き極めて重要である。また、中央アジア地域からの石油・天然ガスの安定供給は、国際エネルギー市場の安定に寄与するものであり、中国、インド等アジアのエネルギー需要増大が見込まれる中、それに見合う供給源の多様化を図る上でも同地域からのエネルギーの安定供給は重要である。

(2) 基本方針

かかる状況下、我が国としては、中・長期的な視点をもって当地域に対する戦略的外交を進めていく必要がある。2004年8月には川口外務大臣（当時）が中央アジア4か国を歴訪し、我が国の提唱により、アスタナ（カザフスタン）において「中央アジア+日本」対話・外相会合が開催された。この際、中央アジア諸国が協力し、アフガニスタン復興協力、麻薬、テロ、環境、エネルギー、水、輸送、貿易・投資等の地域的課題の解決に努め、共に安定・繁栄を目指すことが重要であり、そのようなアプローチがなされるのであれば、我が国はこれを支持・支援するとして、第一に、これまで進めてきた中央アジア各国との二国間関係を増進し、第二に、これと併行して中央アジア地域全体との対話と協力を推進して行くことを柱とする我が国の新たな対中央アジア政策を表明した。これに対し、各国より全面的な支持、歓迎の意が表明され、新たに「中央アジア+日本」対話の枠組みが立ち上げられ、事務レベル会合等によりフォローアップされることとなった。これらを踏まえ、今後ともこの地域との政治・外交、経済・開発、文化などの分野における対話、協力、交流を引き続き積極的に進めて行く。

表－1 主要経済指標等

国名	人口	GNI総額	一人あたり GNI	経済成長率	貿易額			対外債務残高	債務返済 比率（DSR）	財政収支 /GDP比	債務 /GNI比	債務残高 /輸出比	援助受取総額
	2003年 (百万人)	2003年 (百万ドル)	2003年 (ドル)	2002-2003年 (%)	輸出 2003年 (百万ドル)	輸入 2003年 (百万ドル)	貿易収支 2003年 (百万ドル)	2003年 (百万ドル)	2003年 (%)	2003年 (%)	2003年 (%)	2003年 (%)	2003年 (百万ドル)
ウズベキスタン	25.6	9,833	420	4.4	3,775.00	3,096.00	679.00	5,006	8.3	—	46.8	142.2	194.4
カザフスタン	14.9	28,009	1,780	9.2	15,039.61	13,169.92	1,869.69	22,835	18.9	-0.6	95.3	184.0	268.4
キルギス	5.1	1,847	340	6.7	745.27	820.89	-75.62	2,021	7.4	—	97.9	241.4	197.7
タジキスタン	6.3	1,463	210	10.2	782.00	1,033.00	-251.00	1,166	6.1	—	77.0	127.5	144.1
トルクメニスタン	4.9	6,120	1,120	16.9	3,725.50	3,242.50	483.00	—	—	—	0.0	0.0	27.2
アゼルバイジャン	8.2	6,695	820	11.2	3,056.61	4,769.59	-1,712.98	1,681	3.7	—	22.7	49.5	296.7
アルメニア	3.1	2,896	950	13.9	903.49	1,405.91	-502.42	1,127	3.3	-0.7	29.2	86.4	247.4
グルジア	5.1	4,015	770	11.1	1,273.34	1,855.17	-581.83	1,935	4.5	-0.9	42.6	129.5	219.8

出典) World Development Indicators/The World Bank (2005)

注) 貿易額について、輸出入いずれもFOB価額

中央アジア及びコーカサス地域

表-2 我が国との関係

国名	貿易額			我が国による 直接投資	進出日本 企業数	在留する 日本人数	日本在留 人数
	対日輸出	対日輸入	対日収支	2004年 (百万ドル)	2004年 11月現在	2004年 10月1日現在 (人)	2004年 12月31日現在 (人)
	2004年 (百万円)	2004年 (百万円)	2004年 (百万円)				
ウズベキスタン	5,641.1	9,386.8	-3,745.7	—	—	149	376
カザフスタン	20,036.3	26,595.6	-6,559.3	—	—	129	135
キルギス	404.6	54.1	350.5	—	—	63	92
タジキスタン	48.4	913.6	-865.2	—	—	10	22
トルクメニスタン	5,570.0	21.3	5,548.7	—	—	4	4
アゼルバイジャン	8,419.3	114.2	8,305.1	—	—	20	42
アルメニア	144.3	63.1	81.2	—	—	1	29
ゲルジア	1,104.6	826.7	277.9	—	—	1	38

出典) 貿易統計・財務省、日本の貿易統計・国際収支統計/JETRO、海外進出企業総覧/東洋経済新報社（2005年）、海外在留邦人数調査統計/外務省（2005年）、在留外国人統計/法務省（2005年）

2. 中央アジア・コーカサス地域に対する2004年度ODA実績

我が国は、旧ソ連諸国支援の一環として、中央アジア及びコーカサス地域の国々が開発援助委員会（DAC：Development Assistance Committee）途上国リストに掲載される以前の1991年から研修員を受入れ、1993年より専門家派遣等を開始しており、1992年10月の旧ソ連支援東京会議において表明した1億ドルの対旧ソ連新独立国家（NIS：Newly Independent States）人道支援及び1993年4月のG7閣僚合同会合において表明した1億ドルの対NIS人道支援及び1.2億ドルの対NIS改革促進支援の一部をこの地域にも実施してきた。

中央アジア5か国は1993年1月より、コーカサス3か国は1994年1月よりDAC途上国リストに掲載されたが、これは、同地域への支援を重視する我が国がDAC諸国に対してDAC途上国リスト掲載を積極的に働きかけたことが功を奏したものである。

円借款については、タジキスタン以外の各国に対し、運輸・通信インフラ、エネルギー（空港改修、発電所改修、鉄道輸送近代化、通信網拡充、道路網整備等）を中心とした協力を行っている。

無償資金協力については、保健・医療分野を中心とする一般プロジェクト無償、緊急無償、食糧増産援助、ノン・プロジェクト無償、草の根・人間の安全保障無償資金協力等を実施している。

技術協力については、この地域に対する協力が、これら諸国が国家計画経済体制から市場経済体制への移行期にある国であり、ソフト面での協力が重要であると考えられることから、2004年度末までに研修員をこれら8か国から約3,700名以上受け入れた。この他、現地での日本人材開発センター（日本センター）をはじめ、経済運営、法制度整備支援、通信、金融、環境、運輸インフラ、保健・医療分野等の専門家派遣、社会セクター、エネルギー、資源開発分野等の開発調査を含めた様々な協力を実施している。

表-3 中央アジア及びコーカサス地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額、単位：百万ドル)

暦 年			1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	累 計
O D A	贈 与	無償資金協力	0.49 (0.0)	21.87 (0.7)	33.09 (1.4)	41.46 (2.1)	24.20 (1.1)	45.69 (2.0)	44.96 (2.1)	44.75 (2.4)	73.65 (4.3)	42.26 (2.5)	20.21 (0.47)	392.62
		技 術 協 力	8.97 (0.3)	14.97 (0.4)	18.80 (0.6)	24.54 (0.8)	27.89 (1.0)	31.00 (1.0)	32.69 (0.9)	34.59 (1.1)	31.91 (1.2)	36.04 (1.3)	49.66 (1.71)	313.64
		贈 与 計	9.46 (0.2)	36.84 (0.6)	51.88 (0.9)	66.01 (1.3)	52.09 (1.1)	76.69 (1.4)	77.65 (1.3)	79.34 (1.6)	105.56 (2.4)	78.31 (1.7)	69.87 (0.97)	706.27
		政 府 貸 付 等	39.73 (0.9)	30.45 (0.7)	28.13 (1.0)	90.87 (5.8)	189.62 (5.2)	162.62 (3.3)	195.73 (5.1)	161.32 (6.2)	182.98 (8.1)	267.22 (18.2)	221.04 (－)	1,569.72
政府開発援助計 (ODA計)			49.19 (0.5)	67.29 (0.6)	80.01 (1.0)	156.88 (2.4)	241.72 (2.8)	239.31 (2.3)	273.38 (2.8)	240.66 (3.2)	288.54 (4.3)	345.53 (5.8)	290.91 (4.89)	2,275.98

注) () 内は各形態別の全世界合計（東欧・卒業国を含む）に占める中央アジア及びコーカサス地域の割合（％）

中央アジア及びコーカサス地域

図ー1 中央アジア・コーカサス地域及び全世界に対する我が国二国間ODAの形態別構成 (2004年、支出純額、単位：百万ドル)

		政府貸付等	無償資金協力	技術協力
		76.0% 221.00	6.9% 24.20	17.1% 49.65
中央アジア及びコーカサス 地域に対する 我が国二国間ODA (計294.85)				
全世界に対する 我が国二国間ODA (計5,954.10)	-21.5% -1,281.02	72.7% 4,325.94	48.9% 2,909.18	

表ー4 中央アジア及びコーカサス地域に対する我が国国別二国間ODA実績 (暦年、OECD/DAC集計ベース、単位：百万ドル、支出純額)

国 名	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
ウズベキスタン	2.55	16.05	25.30	83.16	103.01	81.63	82.20	30.92	40.16	63.22	99.75
カザフスタン	1.62	4.40	8.96	43.09	95.21	67.46	83.33	43.93	30.13	136.27	130.76
キルギス	44.49	45.80	44.27	18.05	25.17	62.51	47.79	23.15	8.12	31.23	26.69
タジキスタン	0.20	0.30	0.31	0.31	0.41	1.55	2.06	4.61	26.96	4.77	6.58
トルクメニスタン	0.21	0.52	0.71	0.78	4.36	1.69	1.07	16.42	11.37	6.80	2.22
アゼルバイジャン	0.04	0.06	0.30	2.84	3.47	10.83	36.39	100.97	141.84	79.82	9.64
アルメニア	0.04	0.06	0.01	4.31	5.52	3.44	9.14	5.18	11.36	7.02	4.68
グルジア	0.04	0.10	0.16	4.35	4.59	10.21	11.40	15.48	18.60	16.42	10.59
合 計	49.19	67.29	80.02	156.89	241.74	239.32	273.38	240.66	288.54	345.53	290.91

注) 合計には、「その他」、「分類不能」が含まれている。

出典) OECD/DAC

表ー5 中央アジア及びコーカサス地域に対する我が国二国間ODAの形態別・国別・年度別実績

(1) 円借款

(単位：億円)

国 名	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	累 計
ウズベキスタン	63.47	—	249.55	—	163.59	975.52
カザフスタン	165.39	213.61	—	—	—	887.88
キルギス	—	—	—	—	—	256.65
トルクメニスタン	—	—	—	—	—	45.05
中央アジア合計	228.86	213.61	249.55	0	163.59	2,165.10
アゼルバイジャン	—	—	—	—	—	390.31
アルメニア	—	—	—	—	159.18	213.17
グルジア	—	—	—	—	—	53.32
コーカサス合計	—	—	—	—	159.18	656.80
合 計	228.86	213.61	249.55	0	322.77	2,821.90

注) 1. 「年度」は、交換公文締結日による。

2. 「金額」は、交換公文ベースで債務繰延・債務免除を除く。

中央アジア及びコーカサス地域

(2) 無償資金協力

(単位：億円)

国 名	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	累 計
ウ ズ ベ キ ス タ ン	15.80	33.01	11.14	15.52	13.38	164.76
カ ザ フ ス タ ン	7.06	0.21	9.29	5.45	0.82	57.47
キ ル ギ ス	11.41	3.15	9.96	4.42	9.12	98.55
タ ジ キ ス タ ン	3.54	36.37	8.60	5.35	7.01	62.23
トルクメニスタン	—	0.45	—	—	0.20	6.20
中 央 ア ジ ア 合 計	37.81	73.19	39.00	30.74	30.53	389.21
アゼルバイジャン	9.88	8.96	2.63	8.55	2.94	57.14
ア ル メ ニ ア	5.20	8.84	5.85	2.20	2.71	50.29
ゲ ル ジ ア	8.33	8.97	2.21	4.25	6.05	62.66
コ ー カ サ ス 合 計	23.41	26.77	10.69	15.00	11.70	170.09
合 計	61.22	99.96	49.68	45.74	42.23	559.30

(3) 技術協力

(単位：億円)

国 名	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	累 計
ウ ズ ベ キ ス タ ン	4.32	10.25 (8.01)	13.52 (10.81)	14.54 (12.28)	9.42	74.66
カ ザ フ ス タ ン	12.45	11.14 (8.70)	11.53 (10.53)	10.29 (9.30)	5.02	92.18
キ ル ギ ス 共 和 国	2.18	3.56 (3.02)	4.33 (3.80)	10.29 (9.55)	11.95	62.57
タ ジ キ ス タ ン	1.37	1.95 (1.87)	2.55 (2.44)	2.88 (2.71)	2.74	14.90
トルクメニスタン	0.50	0.41 (0.36)	0.68 (0.18)	0.14 (0.10)	0.10	3.96
中 央 ア ジ ア 合 計	20.82	27.32 (21.96)	32.61 (27.76)	38.14 (33.94)	29.23	248.26
アゼルバイジャン	7.89	6.29 (5.70)	1.80 (1.49)	1.66 (1.38)	1.07	22.80
ア ル メ ニ ア	0.65	1.78 (1.46)	2.23 (2.08)	2.61 (2.38)	2.77	13.00
ゲ ル ジ ア	1.72	2.89 (2.52)	1.55 (1.31)	0.84 (0.63)	1.04	10.14
コ ー カ サ ス 合 計	10.26	10.96 (9.68)	5.56 (4.88)	5.11 (4.39)	4.88	45.95
合 計	31.08	38.27 (31.63)	38.17 (32.65)	43.25 (38.33)	34.11	294.21

注) 1. 「年度」の区分は、予算年度による。

2. 2001～2003年度の技術協力においては、日本全体の技術協力事業の実績であり、2000年度及び2001～2003年度の（ ）内はJICAが実施している技術協力事業の実績。なお、2004年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示し、累計については2004年度までにJICAが実施している技術協力事業の実績の累計となっている。

3. 四捨五入の関係で、合計値が合わない場合がある。

表－6 中央アジア及びコーカサス地域に対する我が国無償資金協力の分野別実績

(1) 全体内訳

(単位：億円)

年度	一 般	水 産	緊 急	文 化	小 計	食 糧 (KR)	食糧増産 (2KR)	総計
2002年	40.12 (2.29)	— —	— —	2.57 (9.77)	42.68 (2.14)	7.00 (3.91)	— —	49.68 (2.22)
2003年	35.78 (2.58)	— —	— —	1.76 (7.93)	37.54 (1.73)	2.00 (1.78)	6.20 (12.15)	45.74 (1.96)
2004年	31.96 (2.18%)	— —	— —	2.29 (10.21%)	34.25 (1.40%)	2.00 (1.91%)	6.00 (11.99%)	42.25 (1.62%)

注) 1. 「一般」には、「一般プロジェクト無償資金協力」、「債務救済」、「ノン・プロジェクト無償資金協力」、「草の根無償資金協力（2003年度からは「草の根・人間の安全保障無償資金協力」）」、「NGO支援無償資金協力」及び「留学研究支援無償資金協力」が含まれる。

2. () は、金額の全世界合計に占めるシェア (%)

中央アジア及びコーカサス地域

(2) 一般プロジェクト無償内訳

(単位：億円)

年度	医療・保健	教育・人づくり	農 林 業	環 境	通信・運輸	水	エネルギー	地 雷	そ の 他	計
2004年	6.89 (2.83)	— —	— —	— —	16.57 (12.74)	— —	— —	— —	— —	23.46 (2.91)

注) () は、金額の全世界合計に占めるシェア (%)

表-7 中央アジア・コーカサス地域に対する我が国技術協力の年度別・形態別実績

年度	経費総額 (億円)	研修員受入 (人)	専門家派遣 (人)	調査団派遣 (人)	協力隊派遣 (人)	その他ボランティア (人)
2000年	31.08 (1.98)	370 (2.11)	64 (1.89)	294 (3.12)	13 (0.95)	
2001年	38.27 [31.63] (1.6) [(2.0)]	581 [450] (1.5) [(2.1)]	109 [90] (1.8) [(2.8)]	239 [214] (2.5) [(2.3)]	[10] [(0.9)]	[3] [(0.7)]
2002年	38.18 [32.65] (1.98) [(2.21)]	709 [557] (1.83) [(2.83)]	126 [111] (2.20) [(3.96)]	314 [308] (3.97) [(3.62)]	[16] [(1.30)]	[1] [(0.19)]
2003年	43.25 [38.33] (2.29) [(2.71)]	932 [523] (2.50) [(3.21)]	138 [109] (3.41) [(3.70)]	362 [355] (4.91) [(4.58)]	[33] [(2.50)]	[11] [(2.08)]
2004年	34.11 (2.27)	585 (2.91)	133 (3.06)	241 (3.19)	26 (1.83)	4 (0.88)

注) 1. 年度の区分は、予算年度による。

2. () 内は、全世界に占める中央アジア・コーカサスの地域のシェア (%)

3. 2001～2003年度については、日本全体の技術協力事業の実績。2000年度及び2001～2003年度の [] 内はJICAが実施している技術協力事業の実績。なお、2004年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。

表-8 中央アジア及びコーカサス地域に対するDAC主要援助国の二国間ODAの推移

(支出純額、単位：百万ドル)

国 名	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
日 本	239.3 (2.3)	273.4 (2.8)	240.7 (3.2)	288.5 (4.3)	345.6 (5.5)
米 国	210.7 (3.1)	345.3 (4.7)	392.1 (4.7)	597.1 (5.6)	408.3 (2.8)
英 国	8.9 (0.4)	9.6 (0.4)	14.3 (0.5)	16.5 (0.5)	18.2 (0.5)
フ ラ ン ス	9.2 (0.2)	10.4 (0.4)	12.4 (0.5)	13.6 (0.4)	12.1 (0.2)
ド イ ツ	77.3 (2.4)	65.7 (2.4)	78.6 (2.8)	107.4 (3.2)	115.0 (2.8)
イ タ リ ア	3.0 (0.7)	0.8 (0.2)	1.6 (0.4)	4.7 (0.5)	4.6 (0.4)
カ ナ ダ	5.6 (0.5)	3.0 (0.3)	4.6 (0.4)	5.8 (0.4)	9.5 (0.7)
オーストラリア	— (—)	0.2 (0.0)	0.1 (0.0)	0.2 (0.0)	0.0 (0.0)
スウェーデン	4.6 (0.4)	5.0 (0.4)	6.4 (0.5)	6.9 (0.5)	7.7 (0.4)
全DAC諸国計	613.9 (1.6)	762.6 (2.1)	821.5 (2.3)	1,159.9 (2.8)	1,054.9 (2.1)

注) () 内は、各DAC諸国の二国間ODAの総計（東欧を除く）に占める中央アジア及びコーカサス地域のシェア (%)

表-9 中央アジア及びコーカサス地域諸国に対するDAC主要援助国の国別二国間のODA実績（2003年）

(支出純額、単位：百万ドル)

	日 本	米 国	英 国	フランス	ドイツ	イタリア	カナダ	オーストラリア	スウェーデン	DAC合計
アゼルバイジャン	79.82	49.27	0.29	1.29	13.58	0.21	1.05	—	0.31	158.51
アルメニア	7.02	74.19	3.15	3.03	13.92	1.55	0.92	0.02	1.61	127.40
ウズベキスタン	63.22	68.36	0.59	2.30	19.01	0.24	0.47	—	0.14	167.48
カザフスタン	136.27	47.81	1.88	1.74	16.37	0.04	0.84	—	0.51	228.04
キルギス	31.23	40.06	7.07	0.71	14.79	0.01	0.43	—	0.97	112.60
グルジア	16.42	74.95	3.41	2.55	31.70	1.81	2.95	—	2.42	163.91
タジキスタン	4.77	47.10	1.09	0.17	4.67	0.73	2.46	—	1.78	80.26
トルクメニスタン	6.80	6.51	0.67	0.35	0.97	—	0.38	—	—	16.74
合 計	345.55	408.25	18.15	12.14	115.01	4.59	9.50	0.02	7.74	1,054.94

注) 合計には、「その他」、「分類不能」が含まれている。

中央アジア及びコーカサス地域

表－10 中央アジア及びコーカサス地域に対するDAC諸国のODA実績

ODA NET

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合 計
2001年	米国 392.1	日本 240.7	ドイツ 78.6	オランダ 19.6	スイス 18.5	240.7	821.5
2002年	米国 597.1	日本 288.5	ドイツ 107.4	スイス 35.1	オランダ 25.1	288.5	1,159.9
2003年	米国 408.3	日本 345.6	ドイツ 115.0	スイス 40.6	オランダ 28.4	345.6	1,054.9

政府貸付

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合 計
2001年	日本 161.3	ドイツ 32.3	米国 18.4	スペイン 10.3	フランス 2.9	161.3	225.3
2002年	日本 183.0	ドイツ 39.3	スペイン 22.4	米国 18.1	フランス 0.2	183.0	263.0
2003年	日本 267.2	ドイツ 36.8	スペイン 20.9	スイス 1.5	フランス 0.1	267.2	323.6

無償資金協力

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合 計
2001年	米国 59.7	日本 44.8	オランダ 17.7	スイス 15.1	ドイツ 14.9	44.8	185.2
2002年	米国 85.1	日本 73.7	スイス 30.5	ドイツ 26.8	オランダ 24.2	73.7	293.0
2003年	米国 70.7	日本 42.3	スイス 34.8	オランダ 25.4	ノルウェー 20.9	42.3	244.5

技術協力

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合 計
2001年	米国 314.0	日本 34.6	ドイツ 31.4	英国 10.2	フランス 4.7	34.6	410.9
2002年	米国 493.9	ドイツ 41.4	日本 31.9	英国 11.6	フランス 7.3	31.9	603.8
2003年	米国 340.6	ドイツ 59.2	日本 36.1	英国 16.8	フランス 10.2	36.1	486.9

表－11 中央アジア及びコーカサス地域に対する国際機関のODA実績

ODA NET

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合 計
2001年	IDA 207.2	CEC 99.7	IMF 75.2	ADB 68.2	WFP 16.6	79.2	546.1
2002年	IDA 224.9	CEC 103.2	ADB 49.1	IMF 18.4	UNHCR 15.2	73.6	484.4
2003年	IDA 241.0	CEC 118.6	ADB 44.5	EBRD 13.8	UNHCR 11.9	55.1	484.9

政府貸付

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合 計
2001年	IDA 207.2	ADB 68.2	IMF 59.1	IFAD 6.2	—	16.4	357.1
2002年	IDA 224.9	ADB 49.1	IMF 18.4	IFAD 7.0	—	15.2	314.6
2003年	IDA 241.0	ADB 44.5	IFAD 10.7	IMF 6.0	—	1.9	304.1

無償資金協力

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合 計
2001年	CEC 99.7	WFP 16.6	UNHCR 15.9	EBRD 10.2	UNICEF 7.6	1.0	151.0
2002年	CEC 71.0	UNHCR 15.2	EBRD 11.8	WFP 10.4	UNICEF 7.9	1.0	117.3
2003年	CEC 77.7	EBRD 13.8	UNHCR 11.9	UNICEF 9.0	WFP 4.0	1.5	117.9

技術協力

(支出純額、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合 計
2001年	UNDP 10.5	UNTA 5.2	UNFPA 4.6	—	—	1.5	21.8
2002年	CEC 32.2	UNDP 10.7	UNFPA 4.5	—	—	0.5	52.4
2003年	CEC 40.9	UNDP 11.1	UNTA 6.3	UNFPA 4.3	—	0.6	63.2

図-2 中央アジア及びコーカサス地域

